

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2023年 第50週（12月11日～12月17日）

今週のコメント

～A群溶血性レンサ球菌咽頭炎～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 増加続く」

第50週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,919例であり、前週比6.1%増であった。定点あたり報告数の第1位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で以下、感染性胃腸炎、咽頭結膜熱、手足口病、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ5.51、5.50、2.44、0.66、0.54である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比10%増の1,085例で、大阪市西部7.40、北河内7.24、泉州6.62、大阪市南部5.67、南河内5.63であった。

感染性胃腸炎は5%増の1,083例で、南河内9.63、大阪市北部7.43、中河内6.85である。

咽頭結膜熱は5%減の480例で、北河内4.48、中河内3.60、南河内2.81であった。

手足口病は40%増の130例で、堺市1.32、南河内0.88、泉州0.86である。

流行性角結膜炎は18%減の28例で、南河内1.25、北河内・中河内・大阪市東部1.00であった。

インフルエンザは11%減の6,035例で、定点あたり報告数は19.72である。南河内25.33、堺市24.55、大阪市北部22.65、中河内22.29、北河内21.68であった。

新型コロナウイルス感染症は10%増の763例で、定点あたり報告数は2.49である。堺市・大阪市東部3.00、南河内2.71、北河内・泉州2.68であった。第46週以降増加が続いている。

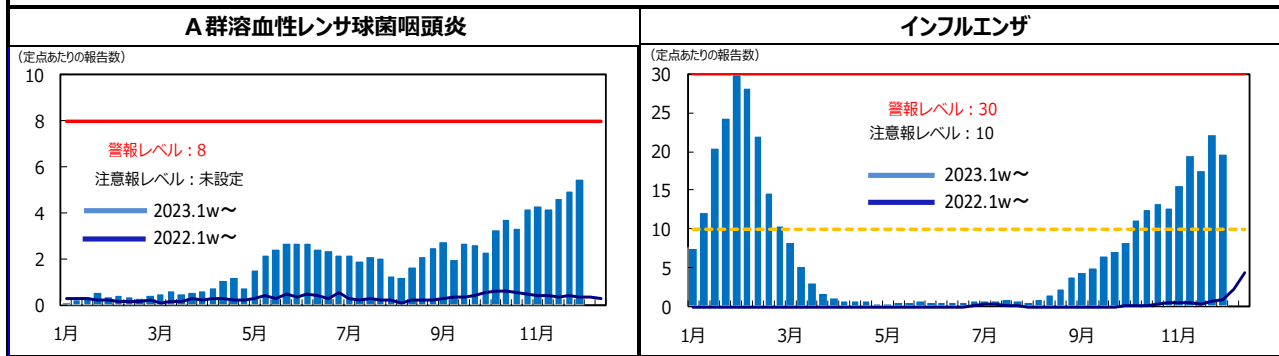


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2023年 第50週12月11日～12月17日）

第50週の順位	第49週の順位	感染症	2023年 第50週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2022年 第50週の 定点あたり 報告数	2023年第50週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5.51	10%増	0.38	7歳_13%
2	1	感染性胃腸炎	5.50	5%増	4.14	1歳_13%
3	3	咽頭結膜熱	2.44	5%減	0.13	5歳_18%
4	5	手足口病	0.66	40%増	0.62	1歳_37%
5	4	流行性角結膜炎	0.54	18%減	0.08	20歳以上_79%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	19.72	11%減	0.82	20歳以上_24%
参考		新型コロナウイルス感染症 (COVID-19定点報告疾患)	2.49	10%増	-	50-59歳_14%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

[詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降\(大阪府\)』の情報をご覧ください。](#)

[詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症\(大阪府感染症情報センター\)』の情報をご覧ください。](#)

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。

2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第50週のコメント

～梅毒～ 大阪府および全国の累計報告数は現行の集計方法で過去最高であった昨年の年間報告数を超えた

全数把握感染症

梅毒

全国の梅毒の年間報告数は2022年は13,221例であったが、2023年は昨年の年間報告数を超えた。大阪府においても、2022年は1,823例で現行の集計方法で過去最高の年間報告数であったが、2023年は第48週時点で昨年の年間報告数を超えた。梅毒は、性行為・オーラルセックスにより、生殖器、口、肛門の皮膚や粘膜の微細な傷口から菌が体内に侵入し感染する。また、妊娠時に胎児が胎盤を介して感染し、「先天梅毒」になることがある。梅毒は、適切な抗菌薬の投与で治癒が期待できる。

[梅毒（大阪府感染症情報センター）](#)
[梅毒とは\(国立感染症研究所\)](#)

大阪府年別累積報告数

表2. 大阪府全数報告数（2023年 第50週12月11日～12月17日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
 （報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】>全数把握疾患 をご覧ください。）

	疾患名 () 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2							1	1	221
4類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	1			1						129
5類感染症	アメーバ赤痢	1								1	50
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3		1			1			1	165
	急性脳炎	1							1		19
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1								1	52
	後天性免疫不全症候群	2								2	73
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	1	1					1	1	153
	梅毒	12	1	1	1				1	8	1,909
百日咳	3							1	2	48	
結核 (2023年10月分)	結核 新登録患者数：96名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 29名) (府内累積報告数 936名、内 肺・喀痰塗抹陽性 318名)										

(2023年12月19日 集計分)